

魅力的高校づくり支援

道議会文教委が鷗川高視察

むかわ学の授業など見学

【室蘭発】道議会文教委員会は10月29日、鷗川高校(三村素道校長)を視察した。笠井龍司委員長ら10人が、地域別課題探究学習「むかわ学」やテーマ別学習「チャレンジスタディ」などの実践内容を調査。笠井委員長は、今後も魅力的な高校づくりを支援していく考えを示した。

鷗川高は、平成15年度から連携型中高一貫教育校として、むかわ町立鷗川中学校と教育課程の編成や教員・生徒間の連携を推進しているほか、本年度からは、高校生対流促進事業指定校として、魅力化コーナーとして、魅力化コーナーを配置し、地域とのコンソーシアムを構築し、地域の教育資源を活用した魅力的な高校づくり

【室蘭発】道議会文教委員会は10月29日、鷗川高校(三村素道校長)を視察した。笠井龍司委員長ら10人が、地域別課題探究学習「むかわ学」やテーマ別学習「チャレンジスタディ」などの実践内容を調査。笠井委員長は、今後も魅力的な高校づくりを支援していく考えを示した。

に取り組んでいる。

当日、笠井委員長や畠山みのり副委員長ら10人が鷗川高を訪問。胆振教育局の山上和弘局長、道教委の阿部正幸総務課長が随行し、むかわ町教委の長谷川孝雄教育長が同席した。

あいさつで笠井委員長は「様々な取組の概要を今後の文教施策に生かしていきたい」と伝えた。

このあと、三村校長が、学校の特色ある取組である、むかわ学やチャレンジスタディなどの内容を紹介した。

委員らは、その後、むかわ学の授業を視察。生徒が考案した商品を発表するなど、主体的に授業に取り組む姿を見学した。



視察を終えて、笠井委員長は「今後もさらなる魅力的な高校づくりに向けて、道教委と連携しながらバックアップしていく」と話していた。

笠井委員長ら10人が参加